

## コンペティション「イエロー」

## 記者会見のご報告

平素よりお世話になっております。本日、『イエロー』のゲストによる記者会見が行なわれましたので、下記の通りご報告いたします。

- 日時・場所 10月21日(日) 16:30~ @ムービーカフェ
- 登壇者 ニック・カサヴェテス(監督/脚本)、ヘザー・ウォールキスト(脚本/女優)

ニック・カサヴェテス監督と、監督と共同で脚本を執筆し主演女優も務めるヘザー・ウォールキストさんにお話を伺いました。

Q: 「イエロー」という題名の意味・意図を教えてください。

ヘザー・ウォールキスト(脚本/女優):率直に言うとな映画のタイトルってたいていは意味がなくて、内容をタイトルから知ることはできないと思っています。なので『イエロー』も特に意味はないと私は思っていますが、ニックは「錠剤の色」だと解釈しているみたい。

Q: 脚本を3年かけて二人で執筆していますが、具体的にはどのような分担で作業を進めたのですか？

監督: とてもシンプルな答えですよ。どの家庭でも同じだと思いますが、女性が一番偉いので彼女が書く内容を指示し、私がタイプしました。ヘザーはキャラクターづくりが得意で私にストーリー展開を何度も説明するので、私のもういいから別室で書いてくるよ!と書きあげたものに彼女がダメ出しをしてまた私が書き直す、ということを繰り返しました。

ヘザー・ウォールキストさん: 話し合っっては少しずつ書き進めるという作業を繰り返し、実際に撮影を始めたのは脚本を書き始めた1年半後でした。でも1週間ほどで資金が尽き、撮影を中断して資金調達に動き、1年後に撮影を再開というようなことを繰り返しました。資金調達にかなりの時間を費やしています。本作品には大勢のプロデューサーが関わっていますが、一人でも欠けていたら作品を完成することはできませんでした。

監督: これは非常に特殊な作品です。人々は恋愛映画が見たいものですから、私たちの脚本を読んでも資金を提供しようという人がおらず、撮影中断せざるを得ない状況になるなど、とても恥ずかしい状況でした。でも少しずつうまくいき...奇跡だと思っています。映画を製作したいと思っている若い人たちへのアドバイスは「頑固に信念を貫け」ということです。この作品はとても大変だったけど、完成することができて幸せだと思っています。

Q: インディペンデントで映画をつくることの醍醐味を教えてください。

監督: 私は自分を世界一ラッキーな人間だと思っています。大学は1学期間しか通わず卒業していませんし、映画製作以外の能力に欠けています。でも物語を書いて撮影し、みなさまに見せるというのが私の仕事なのです。映画製作は至福の喜びです。私はスタジオ制作の映画もつくったことがありますし、それはそれで素晴らしい体験です。でもインディペンデント映画をつくることは大変な部分も含め、映画製作者にとってもいちばん楽しいことなのです。ヘザーのような女性が自分で書いた映画で素晴らしい演技をし、女優として成長していくことを見ることができました。これ以上の人生はないと思っています。

Q: 脚本を書いている段階と、監督と女優という関係になった時に二人の関係は変わってくるのでしょうか？

ヘザー・ウォールキストさん: 今回が初めての共同脚本でしたが、やはり違いました。撮影現場ではそれぞれのスタッフに自分の役割があり、私は女優でした。いったんセットに入れば私はクリエイターでもなく脚本家でもなく、女優なのだという立場を認識していました。

Q: 本作品は監督の作品の中でも画期的なものですが、今後の方向性について教えてください。

監督: 私は将来を予想するのが下手で、いつも予想と異なることを結果的にはしているのですが、撮りたい作品にはいつもひとつの共通点があります。それは「自分の興味がある内容か」というものです。そして自分が将来何に興味をもつのか予想ができません。インディペンデント映画の製作も、スタジオ映画の製作も両方好きですが、要はストーリーに関心があるのか？愛情を感じることができるのか？というのがポイントなのです。『きみに読む物語』の脚本を初めて読んだ時は、くだらないなあと思わず爆笑しました。ですが、私が信じる「永遠の愛」を描いているあの作品を、それがどんなにダサく陳腐なものであっても映画にしたかったです。『イエロー』についても同じ感情をもちました。今後の人生において、自分が美しいと感じる題材を撮り続けることができれば幸せだと思っています。

安定剤に頼って自我を保っている代理教員の女性が、疎遠だった家族と向き合うことで自らの過去と現在に对峙していく人間ドラマ。ポップで斬新なイメージがヒロインの心象風景を彩り、豪華な配役の張りつめた演技がドラマに奥行きをもたらす。N・カサヴェテス監督の新境地！

監督/脚本: ニック・カサヴェテス

出演: ヘザー・ウォールキスト、シエナ・ミラー、メラニー・グリフィス

『イエロー』(2012/105分/英語/アメリカ)

## 【お問合せ】

東京国際映画祭事務局 コミュニケーション広報グループ 宣伝チーム TEL:03-3553-4793 FAX:03-3553-4788